

会議開催結果

1	会議の名称	令和2年度 第2回 砥部町地域公共交通会議
2	開催日時	令和2年12月14日（月）午前10時から
3	開催場所	砥部町役場 3階 議員協議会室
4	審議等事項	<p>(1) 砥部のりあいタクシー再編実施計画（案）について</p> <p>(2) とべ温泉行バス再編実施成計画（案）について</p> <p>(3) 広田のりあいタクシー運行の一部変更について</p> <p>(4) 国保診療所送迎ワゴン再編実施計画（案）について</p>
5	出席者名	<p>【委員】 上田文雄、菊池勝二、岡田好功、藤本孝、福原英夫、日ノ岡光政、稲荷和重、矢野孝寛、越智淳志、星加修一、大西信行</p> <p>【アドバイザー】 倉内慎也</p> <p>【オブザーバー】 門田敬三、松下寛志、池田晃一、山本勝彦、神田義則（株）バイクルード）</p> <p>【事務局】 伊達定真、善家孝介、木下直之</p>
6	公開又は非公開の別	公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人
9	所管課	企画政策課 電話 089-962-7250

令和2年度 第2回 砥部町地域公共交通会議 会議録

発言者	発言内容
事務局	開会宣言（10：00）
会長	開会あいさつ
事務局	会議の公開、非公開について 公開とする。
議長	協議事項（1）砥部のりあいタクシー再編実施計画（案）について説明願 います。
事務局	事務局より説明（資料1）
議長	ご意見等ありませんか。
委員	町内の医療機関、商業施設への移動手段がないので（乗降場所に加えるこ とは）特に意見なし。
委員	現状ののりあいは利用が増える見込みがない。区域と時間の拡大は利便性 が上がると思う。
委員	住民の意見は聞いたか。
事務局	住民アンケートは交通網形成計画を作る際に実施している。その後、のり あい実施計画（案）を作るにあたりアンケート調査は実施していません。 （交通網形成）計画自体が住民アンケートをもとに作られており、住民の 意見は反映されていると考えている。
アドバイザー	サービス開始後どれだけの利用があるか、一定期間をおいてから自治会単 位でいいので住民意見を聞いてほしい。乗換により不便になる面も出てく る。意見を踏まえた改善を視野に入れておいてほしい。
議長	お諮りします。計画案のとおり進めてよろしいか。
委員	異議なし
議長	協議事項（2）とべ温泉行バス再編実施計画（案）について説明願いま す。
事務局	事務局より説明（資料2）
議長	ご意見等ありませんか。
委員	11時10分温泉に着いてから11時25分にパルティフジでは温泉に入浴する時 間が短すぎる。

オブザーバー	利用は温泉客に限らない。買い物客の利用を想定している。
アドバイザー	この運行表のみでは分かり辛い。住民目線で分かり易い周知方法が必要。利用の仕方としてどのような利用が考えられるか。病院など滞在時間的にどうか。乗降施設側にも待合所を設けるなどの工夫を。便が多ければ良いというものではない。強弱をつけることも大事。運行しながら、このようなことを検討してほしい。
議長	お諮りします。計画案のとおり進めてよろしいか。
委員	異議なし
議長	協議事項（3）広田のりあいタクシー運行の一部変更について説明願います。
事務局	事務局より説明（資料3）
議長	ご意見等ありませんか。
委員	（第1便の）時間変更はありがたい。
委員	地域住民から時間の要望は聞いたことがある。良いことである。
議長	お諮りします。変更を承認してよろしいか。
委員	異議なし
議長	協議事項（4）国保診療所送迎ワゴンの再編実施計画（案）について説明願います。
事務局	事務局より説明（資料4）
オブザーバー	（補足説明）火、水、木は定期運行とする。木曜日は、移動スーパーとくし丸が来ないので、1日電話予約による運行としている。
委員	運行開始は令和3年4月1日からでよいか。
事務局	そのとおりである。
委員	広田地区の足の確保の面で送迎ワゴン以外の移動手段について地元からの意見はないか。
オブザーバー	診療所への通院は送迎ワゴンを利用し、買い物はとくし丸を利用している。その他隣近所協力しながらやっている。（広田支所に対して）不便だという苦情はない。
議長	お諮りします。計画案のとおり進めてよろしいか。

委員	異議なし
議長	以上で協議事項を終了します。その他で何かございませんか。
委員	高齢者認知症の方の交通事故が多い。地域公共交通が充実すれば交通事故も減ると思う。
委員	使うほどよくなる制度としなければならない。利用者への周知が肝心である。
委員	利用が増えるような取り組みは必要。また取り組みを通して住民参加の地域づくりに繋がればよいと思う。
オブザーバー	周知方法が重要。一般のタクシー利用とフルデマンド方式（のりあい）の区別が普通の人には分かり難い。砥部タクシーの運転手の理解も必要である。
委員	新型コロナで交通事業者は依然厳しい状況である。維持存続には行政をはじめ地元住民の協力が必要である。
アドバイザー	料金の検証。200円から100円にしたとしても大した財政負担にはならない。かといって料金をとらないということではない。例えば、バスからのりあいに乗り継いだ場合、のりあい料金はかからないなど、負担が公共交通の利用の妨げにならないような工夫をしなければならない。
事務局	閉会宣言（11：15）